

平成十二年十月十七日受領
答 弁 第 九 号

内閣衆質一五〇第九号

平成十二年十月十七日

内閣総理大臣 森 喜 朗

衆議院議長 綿 貫 民 輔 殿

衆議院議員安住淳君提出森喜朗内閣総理大臣が朝鮮民主主義人民共和国の金正日総書記に対し親書を送つたとされる件に関する質問に対し、別紙答弁書を送付する。

衆議院議員安住淳君提出森喜朗内閣総理大臣が朝鮮民主主義人民共和国の金正日総書記に対し

親書を送ったとされる件に関する質問に対する答弁書

一から五までについて

森内閣総理大臣が、金正日朝鮮労働党総書記に対し、本年八月に親書を送った事実はないと承知している。また、森内閣総理大臣が報道機関等に対して責任を問うかどうかについては、政府としてコメントする立場にない。

六について

森内閣総理大臣は文明子氏と以前から面識があり、また、本年面会した事実もあると承知している。

七について

森内閣総理大臣が、本年七月十五日昼に、自民党石川県小松支部青年部関係者との会食のためキャピトル東急ホテルを訪れたことは承知しているが、その余の事実については、政府としてコメントする立場にない。